

## 平成 25 年度第 3 回江別市上下水道事業運営検討委員会 議事録（要旨）

日 時：平成 26 年 1 月 31 日（金）午後 14 時 05 分～午後 2 時 50 分

場 所：水道庁舎 3 階 A 会議室

委員出席者：10 名

木村克輝委員長、水野克也副委員長、小林潤、木村秀裕、笹山和子、神保順子、古川淳子、阿部晃治、桑名代江、山谷研次

事務局出席者：8 名

藤田水道事業管理者、松田部長、川村次長、似鳥総務課長、久保総務課参事、多田営業センター長、安井水道整備課長、中田下水道施設課長

傍 聴 者：2 名

---

### 1. 開会

### 2. 議事

委員長： （1）江別市水道事業・下水道事業中期経営計画（案）に対するパブリックコメントの結果について、事務局から説明をお願いします。

総務課参事： 資料 1、資料 2 により、平成 25 年 12 月 2 日から平成 26 年 1 月 6 日まで実施したパブリックコメントの結果について説明。

委員長： ただいまのパブリックコメントの結果について、質問等はありませんか。

B 委員： 意見の内容に対する市の考え方を市のホームページ等で公開されていますか。

総務課参事： 公表はこれからで、2 月 4 日に公表する予定であります。

委員長： 意見をいただいた方は、水道も下水道も同じ方ですか。

部長： 同じ方です。

委員長： この方の意見で、私も全面的という訳ではないのですが、少し考えを伺います。水道事業の No.5 計画総体の市民がわかる計画でなければならぬというところで、江別市としてはどこまで細かく書くか難しいところはあると思いますが、市民の方が見たときに理解しづらい内容というのはあるのだらうと思います。メニューとしては、内容を全面的にという訳ではないのですが、要望に応じて出せるようにしておいても良いかなと思いました。

もう一つ下水道事業の No.3 のところで、この委員会の中でも何度か議題に上がったものですが、人口が減っていく中で経営基盤の強化を考えると、やはり使用料の引き上げというのはどうしても検討しなければならないことだと思います。そういったことに対して可能性も含めて検討しているところを出すのはマイナスなことではないと思います。この部分、私もこの意見を見て、同意するところがありました。

その他どうでしょう、ありませんか。ないようでしたら、（2）江別市水道事業中期経営計画（案）について、事務局で修正していますので説明をお願いします。

総務課参事： 資料 3 により、前回の委員会で提言のあったところと平成 26 年度予算編成による調整等により修正した箇所を説明。

委員長： ただいま、修正箇所についての説明がありました。質問はありませんか。なければ、（3）江別市下水道事業中期経営計画（案）についても事務局で修正しておりますので、

その点について説明をお願いします。

総務課参事： 資料 4 により、前回の委員会で提言のあったところと平成 26 年度予算編成による調整等により修正した箇所を説明。

委員長： ただいま、修正箇所について説明がありましたが、質問等はありませんか。なければ、この水道事業・下水道事業中期経営計画について、案のとおりでよろしいでしょうか。

(了承) それでは、この計画案で進めていただきたいと思います。

次に、(4) 江別市水道事業・下水道事業中期経営計画策定に係る市民アンケート調査結果について、事務局から説明をお願いします。

総務課参事： 資料 5 により、市民アンケート調査の最終結果を説明。

委員長： ただいま、市民アンケート調査の最終結果について説明がありましたが、質問等はありませんか。

F 委員： 塩素臭について色々あり、それだけ気になっているようですが、札幌市と比較して多いとか少ないとかがあるのですか。

水道整備課長： 江別市も札幌市も水道法という規制があり、0.1mg/l以上を確保することが義務付けられています。江別市は安全値を見て 0.2mg/lとしています。浄水場から末端まで行くのに塩素濃度がだんだん下がっていきますので、浄水場の近辺の方々は少し高めの状態で塩素臭を感じ、中間地点や末端になるとほとんど感じられなくなってきます。札幌市でもまったく同じです。浄水場からの時間、距離によって、どうしても高めの所と低い所、適正な所があるということでご理解いただきたいと思います。

委員長： アンケートの質問の項目にないのですが、塩素臭の改善要望は多いのですか。

水道整備課長： 塩素は、温度でも反応速度が速くなるので、夏場には少し多目に入れますので、どうしても夏場の方が敏感に感じられ、浄水場周辺の方から少し強いと言われていています。

委員長： 千歳川は処理が難しい水なので、それをどう対処するかということがあります。このアンケートの自由意見では分かりませんが、本当に市民の側から強い要望があれば対処しなければならないと思います。

C 委員： 私は石狩東部広域水道企業団の者ですが、私の方の末端は江別市で、私どもから流す水は残留塩素の濃度が 0.7mg/lで、浄水場に近いところの千歳市では、0.6mg/lとか 0.5mg/lで非常に塩素が強くなっています。末端で 0.1mg/lを保つにはそういった残塩管理をしなければなりません。私どもに寄せられるのはやはり夏場で、高温になるとどうしても藻が発生し、臭みが出てきます。その対策として少し塩素を多めにします。そうするとやはり千歳市から塩素が強いと言われます。最終の江別市に到達するまでは安全性を保つということで、近場にいる方には塩素が強いのを理解してもらえないのです。この前、北翔大学で話をしたのですが、私は安全性の担保として塩素が強いのことをお話させていただきました。ペットボトルの水は塩素臭がないのです。このペットボトルに口をつけて飲んで、これをずっと置いておいて飲むという方はまずいないと思いますが、口をつけて飲むと塩素処理していませんから、雑菌が入ってきます。でも水道水は塩素処理していますから安全性は非常に高いのです。その辺をうまい水と安全な水との見解を少し理解してもらおうような PRとか方法を検討していかなければならないと思います。おいしい水ということと確かに塩素臭がないものですが、保存したり、生水で飲んだりするということに

なると安全安心な水道水が良いと思います。

A委員： はじめのころからすると、すごく美味しくなったと思います。以前は、美味しくないと  
いった意見が回りにあり自分もそう思っていました。施設見学やペットボトルとの飲み比  
べ、知識の中に塩素を取ってしまうと雑菌が入ってお腹をこわしたりするとか、そういう  
ことがどれだけ浸透しているのかと思いました。水鏡だけでなく PR だとか、そういった  
何かしないとなかなか浸透できないと思います。本当に忙しいでしょうけど努力して  
いただきたいと思いました。

委員長： その他いかがでしょうか。

D委員： 前回の時に、メータを地下式から地上式にというお話があり、聞いたことを役員会の時  
に、報告をしました。すると、今、年2回の検針は雪のため仕方ないけれども、それ  
をあえて地上に移すと1軒につき何万もかかるのに、そういうことをする必要あるの  
だろうか、きっと水道料金に反映されてくるだろうという意見でした。何時から行い、料  
金的にどうなるのか、負担はどうなるのかお聞きしたい。

部長： 資料3の8ページをご覧ください。(2)電子式メータ(地上式)の推進で、平成27年  
度以降徐々に上がっております。このように電子式メータ(地上式)にしていく計画であ  
ります。

D委員： 料金的には今までどおりですか。

次長： 平成30年度までは料金改定の予定はありません。今のままの料金水準で地上式にして  
いくものです。

D委員： 膨大な負担がでてくるのに、そのお金はどこからでてくるのですか。

次長： 平成30年度まででは60%ですが、100%になった段階で、検針にかかる費用は減少し  
ます。地上式になりますとそこに行っただけで見ることができますので、時間も短くなり、  
検針にかかる費用が相当安くなります。それまでの間に初期投資にかかる費用については、  
委託化ですとかその他業務の効率化などにより賄えるという財政計画になっております。

D委員： 1軒につき5万円ぐらいかかるという話を聞いたのですが。

営業センター長： 労務費込みで地下式ですと8,300円で、電子式にしますと23,000円ぐらいにな  
ります。

次長： メータは計量法に基づき8年に1度必ず取り替えなければなりません。その8年毎に取  
り替えるタイミングで電子式化にしようという計画で、地下式と電子式の差額分が増える  
こととなります。

D委員： 屋内じゃなくて屋外で大丈夫ですか。

次長： 電気のメータも一般住宅であれば外の壁に付いていて、そのようなイメージと  
思っていたらと思います。

委員長： その他いかがでしょうか。

アンケートの自由意見というのは、非常に興味深く、色々な意見があって参考になると  
思って拝見しています。この後、この自由意見を活用していく予定でいますか。

部長： 基本的な施策は平成30年度までの施策の中である程度反映させております。自由意見  
については、今後、こういう意見もあるということを踏まえて施策を考えていくべきと考  
えております。

委員長： この自由意見は、どなたが見るのですか。

総務課参事： この計画とアンケート調査結果を一緒にホームページで公開する予定であります。

委員長： 特に多いと思われる要望は、クレジットカードによる支払いと味、臭いです。そういったところを重点的に検討していただけると良いかなと思いました。  
その他いかがでしょうか。

B委員： 請求方法について、2ヶ月が良いとか、今までどおりが良いとか色々ありますが、今後見直しとか考えていくのでしょうか。

営業センター長： 他市町村の状況など調査しましたが、毎月徴収が払いやすいということで、見直しは考えておりません。

B委員： クレジットカードの支払いについて、札幌市とか政令指定都市で取り入れているようですが、私もすぐく気になるところで、江別市は前向きに検討していかれますか。

営業センター長： クレジットカードについては、ポイントとか色々な機能が付くところもあって、要望が出てきているのかと思います。ただ水道事業としては、経費の関係からクレジットカードの手数料が高いので、今後の動向、要望の状況などを見ながら検討していきたいと考えております。

委員長： またそう遠くない将来に、アンケート調査を実施すると思いますが、その時にぜひこの自由意見の中身を上手く消化して、新しい設問を作っていただきたいと思います。同じ設問で見ていくのも大事ですが、何の要望度が高いのか収集できると思いますので、ぜひご検討いただければと思います。

その他ございませんか。なければ、(5) その他で事務局からお願いします。

水道事業管理者： 今年度の当委員会の最後にあたりまして、ご挨拶をさせていただきます。皆様方におかれましては、お忙しい中、3回に渡りまして積極的にご議論いただきまして、我々もこれらを参考にしながら、どういった形で市民の皆様のニーズに答えていくか真剣に考えていきたいと思っております。なお、今年度につきましては、主に水道事業及び下水道事業の中期経営計画について議論していただきましたが、その中期経営計画は我々にとりまして、経営的な一つの指針になります。と言いますのも、上水、下水道ともに人口減少等に起因し料金収入が減っていく中であって、老朽管の更新であるとか、耐震化への対応、また下水道であれば最近特に発生しているゲリラ豪雨対策、こういった新たなニーズが増えてきました。こういった料金収入が減る一方で新たな出資が増えてきています。こうした中でどのような形で健全経営を維持し、また良質な都市環境を維持するための経費を捻出していくかなど、これらが我々の大きな課題になっております。行政の課題というのは、当然市民の直面する課題であるわけですが、積極的に情報を提供して、共にどういった形で解決するか、これらを一緒に考えていきたいと思っております。その意味からも私どもこうした委員会を大変重要なものと考えております。新年度になりますけれども、また積極的に大所高所からのアドバイスをいただきながら、我々により良い経営の指針を与えていただければと思っております。大変どうもありがとうございました。

総務課参事： 今回、ご提示しました水道事業及び下水道事業中期経営計画（案）を次期中期経営計画としまして、2月17日に市議会へ報告する予定でございます。次回の委員会でございます。

すが、7月に開催したいと考えております。内容としましては、平成25年度の決算、平成26年度予算の概要等についてご報告させていただきたいと考えております。決定次第、ご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

委員長： 皆様方から全体をとおして何かご質問、ご意見等ございませんか。

それでは本日の予定しておりました議事については、全て終了しましたので、これで委員会を終了いたします。ありがとうございました。

【14:50 閉会】